

科目ナンバー	ARS-1-010-k			科目名	南東欧とロシアの歴史と文化		
教員名	菅井 健太			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	本講義では、南東欧(特に、ブルガリア・ルーマニア)とロシアの歴史と文化について学ぶ。ロシア及び南東欧は、複雑な歴史と多様で豊かな文化を持ち合わせている。日本ではあまり馴染みのない国々かもしれないが、現代の世界情勢を読み解く上で決して無視することができない重要な地域でもある。文化や歴史を切り口として、ロシア・南東欧の魅力に迫っていきたい。						
到達目標	1.ロシアや南東欧の歴史や文化についての基本的な知識を習得し、これらの地域に対する理解を深める。 2.混沌とした現代世界を多角的に見る力や多様な文化に対する理解を養い、現代のグローバル社会に必要な国際感覚を身につける。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	通常の講義形式で進めていく。パワーポイントや視聴覚教材(ビデオなど)も適宜使用する。毎回、プリント教材を配布する。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	「ブルガリアの文化と生活B」(ブルガリア・ルーマニア海外研修)を履修する学生は、原則として受講すること。						
アセスメントポリシー及び評価方法	授業への参加度(20%)・課題(30%)・最終レポート(50%)で総合的に評価する。						
教材	教科書などは使わず、毎回プリントを配布する。						
参考図書	川端香男里他編著『新版 ロシアを知る事典』(平凡社) 柴宜弘他編著『新版 東欧を知る事典』(平凡社) 下斗米伸夫編著『現代ロシアを知るための60章(第二版)』(明石書店) 柴宜弘編著『バルカンを知るための66章(第二版)』(明石書店) 六鹿茂夫編著『ルーマニアを知るための60章』(明石書店) 栗生沢猛夫著『図説 ロシアの歴史』(河出書房新社) 柴宜弘著『図説 バルカンの歴史』(河出書房新社) 中島由美著『バルカンをフィールドワークする—ことばを訪ねて』(大修館書店) 沼野充義他編著『ロシア文化事典』(丸善出版)、その他、必要に応じて授業中に指示する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス ロシア・南東欧(バルカン)地域についての概論(国、民族、地理など)						
授業外学修内容	ロシア・南東欧について自分が持っている知識をまとめる。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	ロシアの社会と文化(1)(宗教、習慣、儀礼など)						
授業外学修内容	授業内容の整理					時間数	0.5
3週目							
授業学修内容	ロシアの社会と文化(2)(文学、音楽、食文化など)						
授業外学修内容	授業内容の整理					時間数	0.5
4週目							
授業学修内容	南東欧(バルカン)の社会と文化(1)(宗教、習慣、儀礼など)						
授業外学修内容	授業内容の整理					時間数	0.5
5週目							

授業学修内容	南東欧(バルカン)の社会と文化(2)(文学、音楽、食文化など)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
6週目			
授業学修内容	ロシア・南東欧の言葉(ロシア語、ブルガリア語、ルーマニア語の概要)		
授業外学修内容	キリル文字の練習、挨拶表現の練習	時間数	1.5
7週目			
授業学修内容	ロシアの歴史(1)古代～中世(先史とキエフ・ルーシの時代からタタールのくびきまで)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	ロシアの歴史(2)中世(モスクワ公国の発展からロマノフ王朝の誕生、ピョートル大帝の時代まで)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
9週目			
授業学修内容	ロシアの歴史(3)近世(エカテリーナ2世の時代からロシア革命まで)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	ロシアの歴史(4)近現代(ソヴィエト連邦とロシア連邦の時代、現代ロシアが抱える課題と現状)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	南東欧(バルカン)の歴史(1)古代～中世(バルカン先史、ローマ帝国の拡大とスラヴ人の移住、ビザンツ帝国とバルカン中世国家の繁栄と衰退)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	南東欧(バルカン)の歴史(2)中世～近世(オスマン帝国の支配とナショナリズムの発展)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	南東欧(バルカン)の歴史(3)近現代(民族国家の成立と混沌、バルカン戦争と世界大戦)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	南東欧(バルカン)の歴史(4)近現代(社会主義の時代とその後、現状と課題)		
授業外学修内容	授業内容の整理	時間数	0.5
15週目			
授業学修内容	総括授業で取り上げたロシアと南東欧(バルカン)の文化・歴史・言語をふりかえり、総括する。		
授業外学修内容	ロシア・南東欧について学んで、思ったことについてまとめる。	時間数	1.5
上記の授業外学修時間の合計		10	
その他に必要な自習時間		80	

Number	ARS-1-010-k	Subject	South Eastern Europe and Russian history		
Name	菅井 健太(Sugai Kenta)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2

Course outline	O	In this course, you will learn history and culture of Southeastern Europe (especially Bulgaria and Romania) and Russia. Russia and Southeastern Europe have long history and various cultures. Although these countries are not familiar to most of the people living in Japan, it goes without saying that they are very important and useful in understanding the today's globalized world. The goal of this course is to become acquainted with the culture and history of Russian and Southeastern Europe, and to be able to see the today's globalized world from multiple points of view.
-------------------	---	---